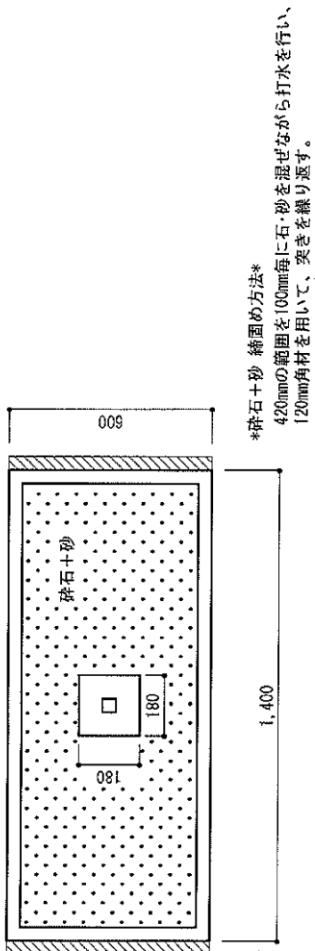
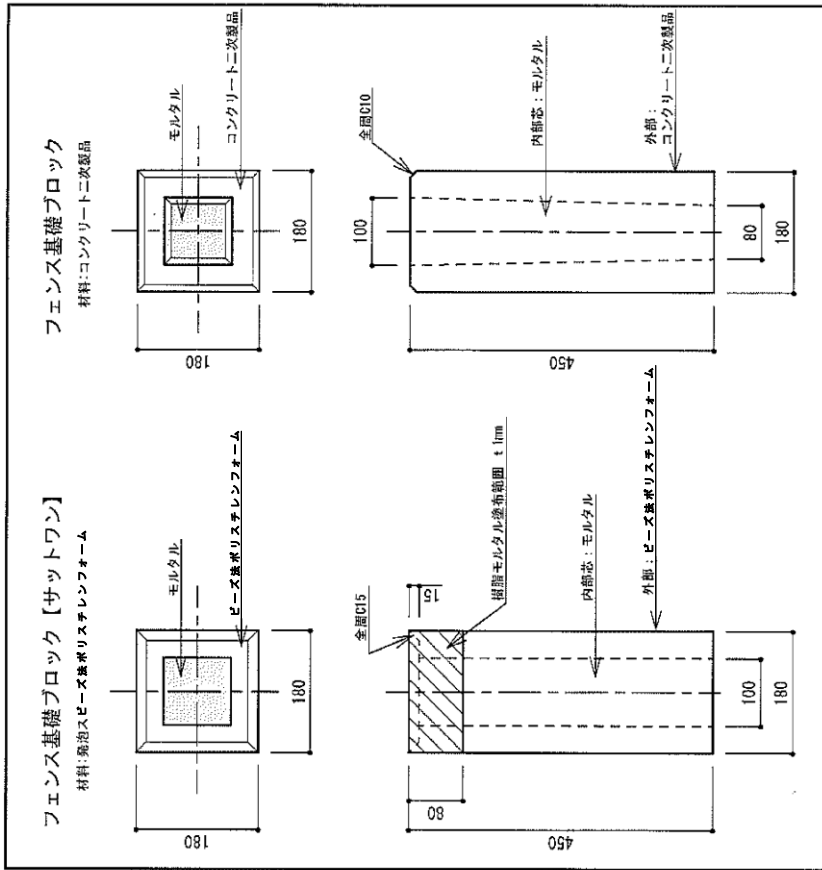


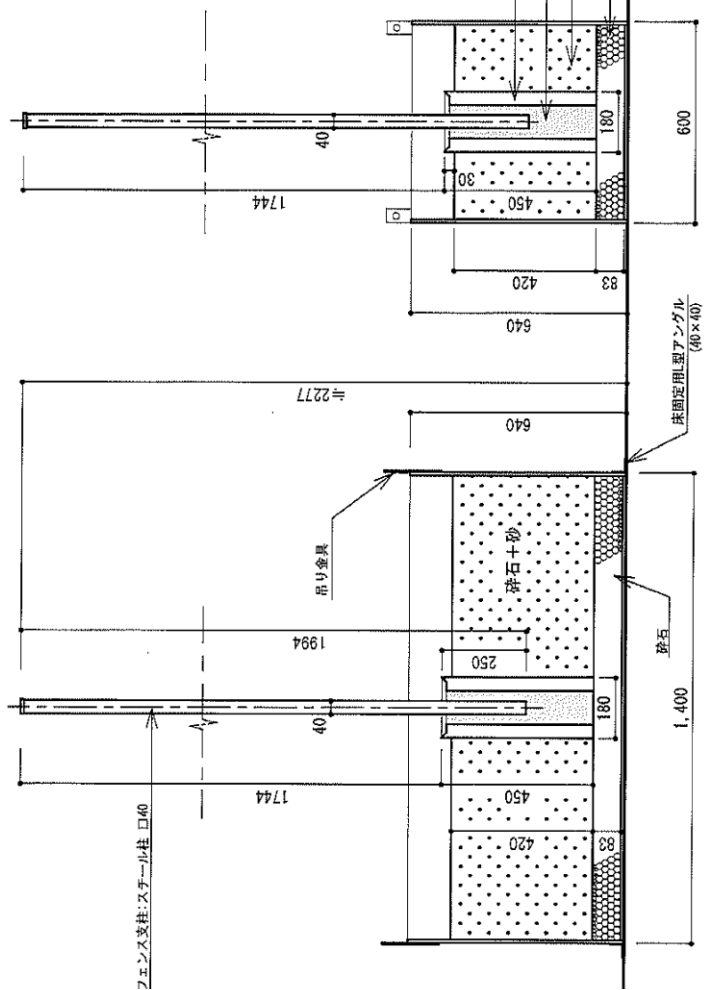
品質性能試験報告書

試験名称	基礎ブロックの水平加力試験				
依頼者	北恵株式会社				
試験項目	水平加力				
試験体 (依頼者 提出資料)	試験体名	主な構成材の寸法 (mm) 及び材質			数量
		フェンス基礎ブロック	フェンス支柱	容器	
	軽量樹脂基礎 (サットワン)	外部： 寸法；180×180 材質；ビーズ法ポリスチレンフォーム (20 kg/m ³ , 自己消化性) 内部芯： 寸法；100×100 材質；モルタル	寸法： 40×40 高さ 1994 材質；スチール	寸法：1400×600×640 充填物：土 (碎石, 砂)	1 体
	コンクリート 基礎ブロック	外部： 寸法；180×180 材質；コンクリート 内部芯： 寸法；上部 100×100 下部 80×80 材質；モルタル	寸法： 40×40 高さ 1994 材質；スチール	寸法：1400×600×640 充填物：土 (碎石, 砂)	1 体
	参 照： 図-1 (試験体)				
試験方法	概 要	容器をシャコ万で架台と固定し、土から高さ 1600mm の位置を鋼製ローラーを介し油圧ジャッキで水平変位 215mm (依頼者との協議した値) まで荷重を加えた。この間、試験体の荷重及び変位を測定するとともに、試験体の状況を目視観察した。			
	測定装置	油圧ジャッキ (揚量；押し 300kN, 引き 100kN) 変位計 (容量；±300mm, 非直線性；±0.3%R0) ロードセル (容量；±50kN, ヒステリシス；±0.05%R0, 非直線性；±0.05%R0)			
		参 照： 写真-1 (試験実施状況)			
試験結果	試験体名	最大荷重時			除荷時の 変位 δ (mm)
		荷重 P _{max} (kN)	変位 δ (mm)	試験体の状況	
	軽量樹脂基礎 (サットワン)	0.6	191.0	試験体の傾き及び土のひび割れ、試験体は外観上異状なし	97.6*
	コンクリート 基礎ブロック	0.7	182.5	試験体の傾き及び土のひび割れ、試験体は外観上異状なし	110.0
	(注) 表中の*は、除荷後 13 分 34 秒後の変位を示す。 参 照： 図-2 (荷重-変位曲線) 写真-2～写真-7 (試験体の状況)				
試験日	平成29年10月19日				
担当者	試験課長 山 邊 信 彦 早 崎 洋 一 (主担当) 森 田 洋 介 品 末 竹 彦				
試験場所	西日本試験所 山口県山陽小野田市大字山川 TEL 0836-72-1223				

単位 mm

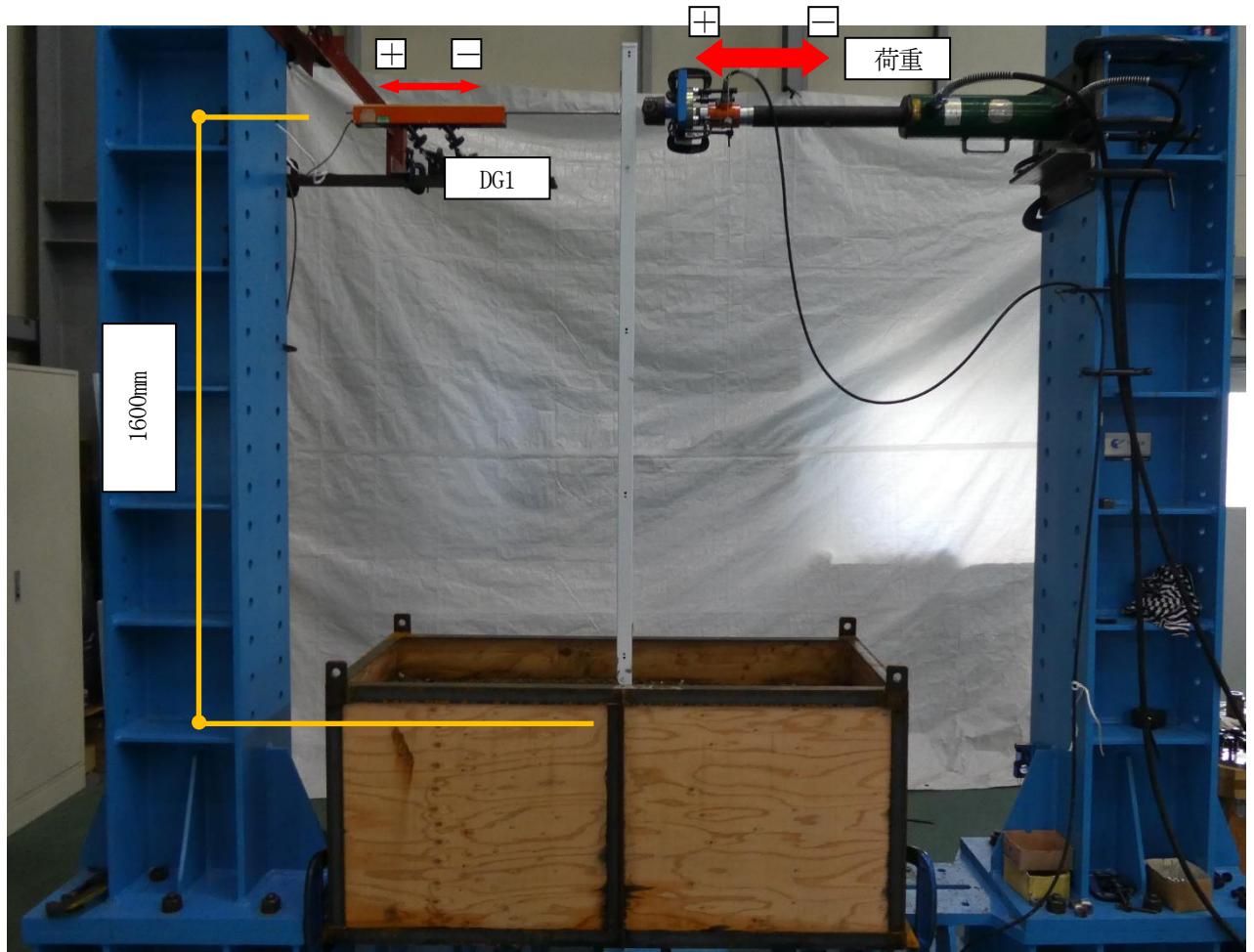


砕石+砂 締固め方法
420mmの範囲を100mm毎に石・砂を混ぜながら打水を行い、120mm角材を用いて、突きを繰り返す。



(依頼者提出資料)

図一1 試験体



(注) DG1：電気式変位計

写真-1 試験実施状況

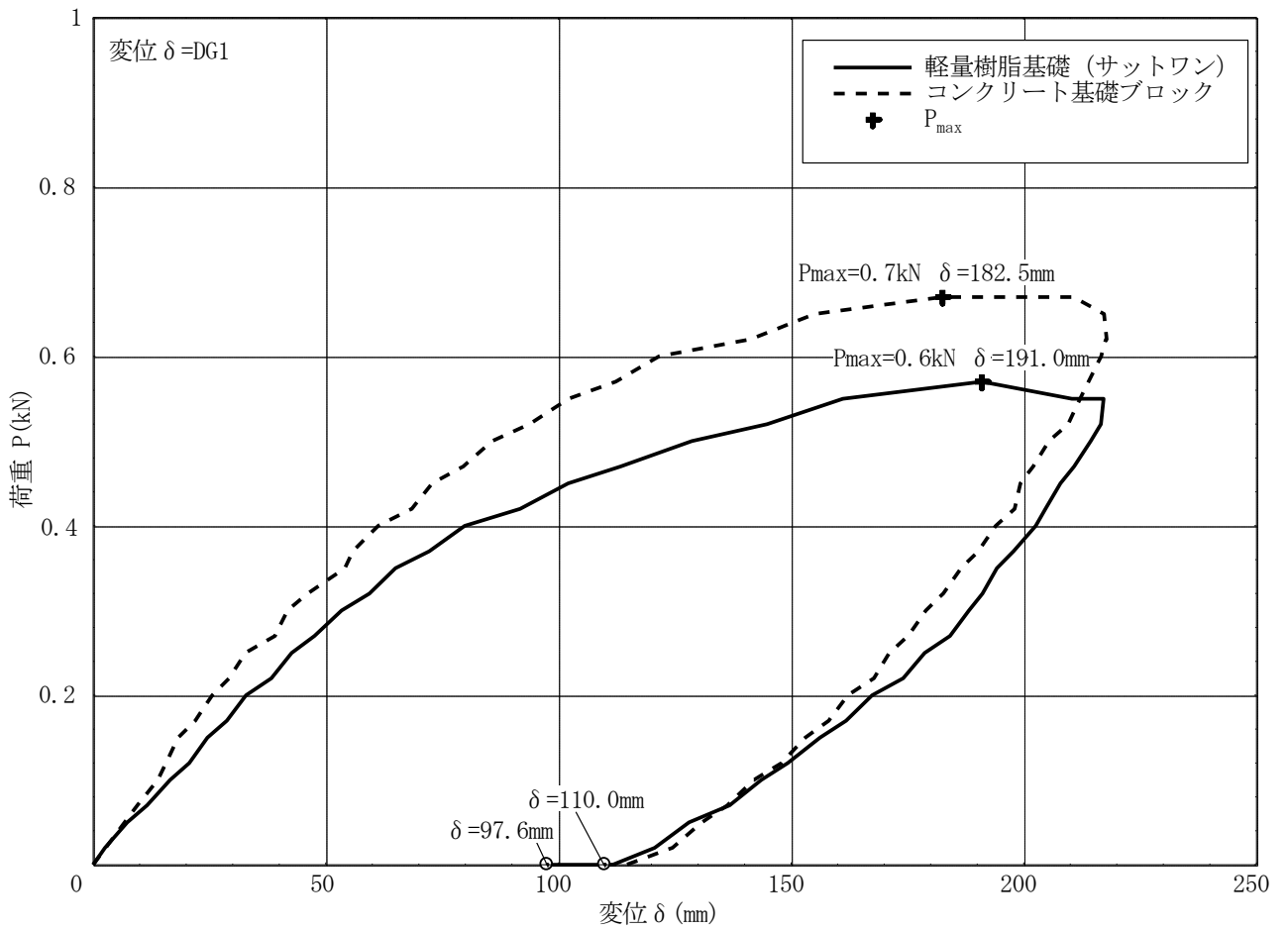


図-2 荷重-変位曲線



写真-2 試験体の状況 (最大荷重時)

試験体名：軽量樹脂基礎 (サットワン)
最大荷重：0.6kN

試験体の傾き及び土のひび割れ，試験体は
外観上異常なし



写真-3 試験体の状況 (最大荷重時)

試験体名：軽量樹脂基礎 (サットワン)
最大荷重：0.6kN

試験体の傾き及び土のひび割れ，試験体は
外観上異常なし



写真-4 試験体の状況 (除荷時)

試験体名：軽量樹脂基礎 (サットワン)

試験体の傾き及び土のひび割れ，試験体は
外観上異常なし



写真-5 試験体の状況（最大荷重時）

試験体名：コンクリート基礎ブロック
最大荷重：0.7kN

試験体の傾き及び土のひび割れ，試験体は
外観上異常なし



写真-6 試験体の状況（最大荷重時）

試験体名：コンクリート基礎ブロック
最大荷重：0.7kN

試験体の傾き及び土のひび割れ，試験体は
外観上異常なし



写真-7 試験体の状況（除荷時）

試験体名：コンクリート基礎ブロック

試験体の傾き及び土のひび割れ，試験体は
外観上異常なし